

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00439)

事務事業名称	安全美化条例に基づく生活環境の改善				款	06	項	01	目	01	事業	005	整理番号	430	
現担当課名	環境課		係名	生活環境担当係		連絡先電話番号	3707		昨年度整理番号	431					
上位施策No・施策名	10 快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和54年度	実行計画事業	目標	03	施策	10	計画事業	03							
令和 4年度担当課名	環境課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、区内滞在者、区内通過者、区内事業者、区内の公共の場及び公共施設など、土地・建物の所有者及び管理者	根拠法令等	(1) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例 (2) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例施行規則 空家等対策の推進に関する特別措置法施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	路上喫煙地区での喫煙行為、区内全域での歩きたばこ・吸い殻のポイ捨てをなくすことを目指す。 区内の公共の場などを清掃し区内全域をきれいな状態にする。 管理不良な空家、ごみ屋敷などをなくし、良好で快適な生活環境を維持する。	活動指標	路上喫煙防止指導件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	路上喫煙防止パトロールは、指導実績を踏まえ、業務委託による体制を中心に、より効果的・効率的に行うとともに、違反者への過料徴収は、必要に応じて実施できる体制を確保する。 区内の公園や道路を自発的に清掃する区民や事業者を支援する。 管理不良な空家、ごみ屋敷などの所有者に対して適正な管理を指導する。	指標名 (1)	地域清掃活動参加団体数
		指標名 (2)	地域清掃活動参加人数
		成果指標	定点観測 (中杉通り、高南通り) による吸い殻のポイ捨て本数
		指標名 (1)	調査1回当たりの平均値【社会】
		指標名 (2)	地域清掃活動参加人数
		指標説明	地域清掃活動の参加人数【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	489	500	531	500	705	500	141.0	97.6
活動指標 (2)	2 団体	40	100	43	100	64	100	64.0	
成果指標 (1)	3 本	28	30	19	18	20	18	111.1	
成果指標 (2)	4 人	6,571	18,000	6,036	18,000	15,013	18,000	83.4	
事業費	5 千円	24,427	18,282	16,860	25,825	25,210	33,331	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	21,683	21,258	23,110	20,858	22,625	20,795	たばこ事業者による公衆喫煙場所の清掃事業が終了したため、設置主体である区が清掃業務を行う必要があり、事業費が増加しました。
	上記以外の職員	7 千円	12,698	12,698	12,863	12,863	12,873	12,873	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	58,808	52,238	52,833	59,546	60,708	66,999		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	58,808	52,238	52,833	59,546	60,708	66,999	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 430

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	環境美化巡回指導業務委託	20	人	3,358
	路面標示補修委託	298	枚	5,996
	安全パトロール (路上喫煙) 委託	9	人	4,483
	公衆喫煙場所清掃業務請負	6	所	9,763
	その他 (啓発用パンフレット・表示物の購入ほか)			1,610
取組成果	<p>路上喫煙対策では、警備会社等への委託による巡回パトロールを継続して実施する等、喫煙ルールの普及・啓発に努めました。特に、要望の多い公衆喫煙場所の枠外での喫煙に対する巡回・指導を強化しました。地域清掃活動は、コロナ禍前の参加団体数及び参加人数まで回復しつつあり、まちの美化に対する区民の協力が得られました。また、管理不適正な空地等の適正管理に向けた取組では、複雑化する課題に対し、関係部署と連携を図り、同行訪問を行う等、所有者等に対する適切な助言・指導等に努めました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>喫煙を取り巻く社会環境の変化のほか、外部評価を踏まえた啓発活動や路上喫煙防止指導に努めた結果、安全美化条例施行時に比べ、歩きタバコや吸い殻のポイ捨ては大幅に減少してきています。しかし、依然としてルールを守らない喫煙者が見受けられるほか、コロナ禍から以前の生活に戻りつつある中で、改正健康増進法や東京都受動喫煙防止条例が全面施行され屋内禁煙が進んだことにより、路上禁煙地区での喫煙のほか、歩きタバコや吸い殻のポイ捨ての増加などが懸念されます。今後も、警備会社等と連携し巡回パトロールを継続して行うほか、喫煙ルールの普及・啓発に力を入れ、喫煙者・非喫煙者双方にとって暮らしやすい生活環境を確保する必要があります。また、区内の道路や公園など公共の場所を自発的に清掃する区民等を継続して支援し、地域の環境美化の促進を図ります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>少子高齢化や核家族化の影響により、管理が行き届かない不適正な空地等が増加する傾向にあり、今後、更に増加することが予想されます。最近では、所有者等が抱える様々な問題が原因で改善に至らない事例もあります。こうした課題に対し、都市整備部門や保健福祉部門等、関連する部署とも連携し、解決に向けた助言・指導などを行っていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>今年度は、区内の電柱に貼付していた喫煙マナーの啓発看板について、一斉張替えを実施します。区内全域において、500枚を超える規模での張替えとなるため、委託事業者と連携を図りながら、確実な業務遂行を果たします。</p> <p>この他、喫煙マナーの普及・啓発に関しては、引き続き定期的な巡回パトロールのほか、各種イベントでの啓発活動を有効に活用しながら、継続的に活動していきます。</p> <p>また、管理不適正な空き地等の課題については、区民から日々寄せられる相談などに対し、速やかな現地確認と相談者との対話を心がけ、関連する部署と引き続き連携を図りながら、早期の改善や解決を目指していきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>屋外での喫煙対策に関しては、これまで継続的に行ってきた普及・啓発や、巡回パトロールなどにより、喫煙マナーが一定程度浸透してきました。</p> <p>しかしながら一方で、改正健康増進法や東京都受動喫煙防止条例の全面施行による屋内禁煙が進んでいる状況や、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の2類から5類への変更等を契機とした外出機会の増加の影響などから、屋外における喫煙が自ずと増える傾向にあります。</p> <p>そのため、マナーの面だけでは解決できない、煙や臭いの課題について、煙が漏れ出ない密封された空間の喫煙場所整備について検討するなど、より一層の対策の検討が必要と考えています。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>区内全域における「歩きタバコ禁止」や、一部地域における「路上禁煙」など、これまでの巡回パトロールや、啓発活動により、屋外における喫煙マナーは区民に浸透しつつあります。一方で、受動喫煙に関する健康被害の不安や臭いの点において、これまでと同様、区に意見や要望が定期的に寄せられています。</p> <p>現状では、改正健康増進法や東京都受動喫煙防止条例の全面施行による屋内禁煙が進んでいる状況に加え、新型コロナウイルス感染症が、感染症法上の2類から5類に変更となったことを契機とした外出機会の増加の影響などから、屋外における喫煙が自ずと増える傾向にあります。現状の喫煙場所等の多くにおいて解決が難しい煙や臭いの問題について、今後、コンテナ型やトレーラー型、空き店舗の活用などの、「公衆喫煙場所」の整備なども検討しながら、喫煙者・非喫煙者双方にとって暮らしやすい生活環境を確保していく必要があります。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00440)

事務事業名称	カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談			款	06	項	01	目	01	事業	006	整理番号	431	
現担当課名	環境課	係名	生活環境担当係	連絡先電話番号	3707			昨年度整理番号	432					
上位施策No・施策名	10 快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現							予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和40年度													
令和 4年度担当課名	環境課			事業評価区分	一般									

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、事業者	根拠法令等	(1) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 (2) 杉並区ねずみ・昆虫・有害鳥獣等防除実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	繁殖期のカラスの巣(卵、ヒナ)や人命に係わるスズメバチの巣は、迅速に対応(撤去など)し、区民の安心・安全を確保する。	活動指標	カラスに関する相談件数
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	蜂に関する相談件数
		指標説明	
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	繁殖期に人へ危害を加えるカラスの巣の撤去及びヒナの捕獲、卵の回収を行う。 活動期のスズメバチの巣を撤去する。 ハクビシンなどの有害鳥獣を捕獲する箱わなの設置・処分を行う。 ねずみ・昆虫などの駆除方法の助言等を行う。 水害時に直接又は委託により消毒作業を行う。	成果指標	カラスの巣の撤去・落下ヒナの捕獲件数
		指標名 (1)	
		指標説明	繁殖期のカラスの巣の撤去数・落下ヒナの捕獲件数【社会】
		指標名 (2)	蜂の巣の駆除件数
		指標説明	スズメバチの巣の撤去件数【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)			
活動指標 (1)	1 件	232	150	142	150	137	150	91.3	79.9			
活動指標 (2)	2 件	1,082	900	904	900	934	900	103.8				
成果指標 (1)	3 件	50	70	23	70	39	50	55.7				
成果指標 (2)	4 件	348	360	359	360	381	360	105.8				
事業費	5 千円	11,631	20,396	16,327	20,601	16,459	20,283	特記事項				
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	4,337	4,252	4,589	4,172	4,492	4,159	有害鳥獣の捕獲は、件数の予測が困難なため、作業委託の実績が見込み数に達しなかったことにより執行残が生じました。			
	上記以外の職員	7 千円	1,814	1,814	1,838	1,838	1,839	1,839				
総事業費 (5+6+7)	8 千円	17,782	26,462	22,754	26,611	22,790	26,281					
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0				
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0				
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0				
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0				
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	17,782	26,462	22,754	26,611	22,790	26,281					

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 431

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	カラスの巣の撤去、落下幼鳥等捕獲作業委託	39	件	1,501
	ハクビシン等の有害鳥獣捕獲檻設置、捕獲個体回収処分委託	373	件	6,221
	スズメバチの巣等撤去作業委託	381	件	8,114
	その他 (捕獲器、殺虫剤等の購入)			623
取組成果	<p>繁殖期のカラスの巣の撤去や特定外来生物であるアライグマやハクビシン等の捕獲のための箱わなの設置・捕獲、スズメバチの巣の撤去を実施し、区民の生活環境の保全や生態系に係る被害の防止・軽減を図りました。なお、カラスに関する相談は前年より減少しましたが巣の撤去数等は増加し、蜂に関しては、相談及び巣の撤去数とも増加しました。また、区民等が行う衛生害虫等の自主防除を支援するため、駆除方法の助言のほか、防除機具の貸出し等に取り組みました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>ハクビシンやハチ等が民有地に巣を作ることなどにより人に危害を加えるおそれのある場合に、巣の撤去や箱わなを設置し捕獲する事業であり、自然界にいる動物等が対象のため、生息数の増減等の予測は難しいと考えます。また、区民一人ひとりが、管理している民有地の樹木や草木などを適切に管理・剪定することで巣を作られにくくすることができそうですが、すべてを防ぐことは困難です。そのため、区民からの巣の撤去や駆除等の要望に対し、委託事業者と連携し、迅速かつ適切に駆除・捕獲を行い、被害の拡大を抑制することで、区民の安全・安心を確保し、区民サービスの向上を図る必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>ねずみや蚊などの衛生害虫は、生活環境における衛生上の安全と安心の確保に影響を与えます。害虫は発生の抑制を図ることが被害防止の有効な手段のため、発生抑制方法などの知識について区民に周知を図っていきます。また、衛生害虫等の防除方法について適切な助言を行うほか、防除機具の貸出しを行い、区民の自主的な防除を支援します。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年6月に発生した台風2号により浸水被害を受けた住民からの依頼を受け、消毒液の噴霧及び配布を行いました。 また、繁殖期のカラスの巣の撤去や特定外来生物であるアライグマ、ハクビシン等の捕獲のための箱わなの設置・捕獲、スズメバチの巣の撤去等を実施し、区民の生活環境の保全や生態系に係る被害の防止・軽減に取り組みました。今後も引き続き取り組んでいきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>カラスに関しては、一定数、巣の撤去依頼があることから、引き続き要望等の把握に努め、柔軟に対応していきます。有害鳥獣等の対策については、都の調査では、区部におけるアライグマやハクビシンの相談件数、捕獲数とも増加傾向にあり、引き続き、区部にも一定数が生息していると推定されます。区内でも目撃情報が多く寄せられていることから、区民等からの捕獲依頼に対し、迅速かつ適切に対応していきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>カラスやスズメバチの巣の撤去、アライグマ・ハクビシン等捕獲への対応については、引き続き、委託の専門業者と連携し、迅速かつ適切に対応し、区民サービスの向上を図ります。 区が撤去の対象としないアシナガバチの相談等については、被害を防ぐための注意点や対処法等を分かりやすく丁寧に説明していくとともに、広報やHPなどにも、対処ポイントなどを掲載して周知を図っていきます。また、蚊などの害虫は、発生抑制が被害を拡げないための有効な手段のため、発生抑制方法などについてより分かりやすい周知となるよう工夫していきます。 なお、区内に数軒あるいわゆる「ごみ屋敷」への対策として、消耗品等の予算が増額する見込みです。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00445)

事務事業名称	一般廃棄物処理管理事務			款	06	項	01	目	03	事業	001	整理番号	437
現担当課名	ごみ減量対策課		係名	管理係		連絡先電話番号	3723		昨年度整理番号	438			
上位施策No・施策名	10 快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度												
令和 4年度担当課名	ごみ減量対策課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	家庭廃棄物及び事業系一般廃棄物 一般廃棄物処理業者	根拠法令等 (1) (2)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	廃棄物の分別状態を適正にし、より円滑な廃棄物処理を可能にしていく。 一般廃棄物処理基本計画に定めた目標値の達成を目指す。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	一般廃棄物処理業者許可 (新規・更新) 件数 収集車両台数 (1日平均)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	適正な排出処理に向けた基盤づくりを行う。 一般廃棄物処理業者への助言、指導を行う。 「杉並区一般廃棄物処理基本・実施計画」や「ごみ収集作業計画」を策定する。 清掃リサイクル事業の基礎データを収集する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	事業系一般廃棄物搬入量 (持込ごみ量) 指定処理施設 (清掃工場等) への事業系一般廃棄物総搬入量 (速報値) 【行政】 一般廃棄物搬入量 指定処理施設 (清掃工場等) への廃棄物総搬入量 (速報値) 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1 件	107	147	144	113	102	145	90.3	96.1
活動指標 (2)	2 台	79	80	80	81	81	81	100.0	
成果指標 (1)	3 t	22,684	25,119	23,783	25,815	24,027	26,242	93.1	
成果指標 (2)	4 t	123,347	119,723	121,540	123,045	118,139	121,909	96.0	
事業費	5 千円	3,583	4,854	4,351	2,353	2,262	6,852	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	21,853	17,563	18,934	20,734	23,132	22,783	
	上記以外の職員	7 千円	907	363	551	368	368	368	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	26,343	22,780	23,836	23,455	25,762	30,003		
財源	受益者負担分	9 千円	1,085	1,486	1,450	1,146	1,025	1,466	
	国・都からの補助金	10 千円	181	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	1,266	1,486	1,450	1,146	1,025	1,466	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	25,077	21,294	22,386	22,309	24,737	28,537	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 437

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	廃棄物情報管理システム維持管理			815
	「一般廃棄物処理基本計画」冊子作成			490
	全国都市清掃会議負担金等の支出			388
	その他 (需用費等)			569
取組成果	<p>一般廃棄物処理に係る令和12年度までの長期的視点に立った基本的な方針を定める、一般廃棄物処理基本計画を策定しました。構成は、「ごみ処理基本計画」及び「生活排水処理基本計画」に加え、新法を踏まえ、新たに「食品ロス削減推進計画」を包含した計画としました。また、令和5年10月の6年ぶりとなる廃棄物処理手数料改定に向け、条例改正等の準備を進めました。</p> <p>一般廃棄物処理業者に対して、法令等で定めた基準に従って適正に廃棄物を処理しているかの確認や助言、指導を実施しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>平成12年に都から清掃事業が区に移管されて以降、ごみの減量と再資源化、特にフードドライブや「食べのこし0 (ゼロ) 応援店」拡充の取組を中心とした食品ロスの削減、粗大ごみ、小型家電、不燃ごみの金属部分回収や拠点回収の拡充等資源化の推進に取り組んできました。この間、令和4年4月にプラスチック資源循環促進法が施行され、区においても、一層のプラスチックの排出抑制や再資源化の取組を推進することが求められている状況です。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>当該状況下において5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う区民の生活スタイルの変化による家庭ごみの状況と次年度下半期から計画している製品プラスチックのモデル回収を見据え、家庭ごみ排出状況調査を実施・検証し、今後の全域実施に向けた検討の基礎資料としていきます。</p> <p>また、昨今の他都市における大規模災害の発生状況を踏まえ、清掃事務所や関係機関と連携のうえ、「杉並区災害廃棄物処理計画」に基づく災害時行動マニュアルについて、より実効性があるものとして精度を高めていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>6月にコロナ後の家庭ごみの状況把握と次年度からの製品プラスチックモデル回収を見据え、家庭ごみ排出状況調査を区内8地域・11地点で実施しました。</p> <p>10月からの廃棄物処理手数料の改定に向け、23区内で課題の整理・調整を図るとともに清掃事務所と連携して対外的な周知啓発を強化して行いました。</p> <p>また、度重なる不適正搬入を繰り返し、改善要素が見られない一般廃棄物処理業者に対して、9月からの行政処分に向けて調整を図りました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>今年度実施した家庭ごみ排出状況調査 (未定稿) においても、依然として資源化可能なものが一定割合含まれた結果となりました。来期からの製品プラスチックを含めた分別モデル回収を見据える中で、区民等に対して、資源化可能な品目に関する分別についてわかりやすく普及啓発を行っていくことが重要な課題です。加えてワンウェイプラスチックや食品ロスの削減に向けて、リデュースやリユースを推進する取組も引き続き強化を図っていきます。</p> <p>事業系ごみについては、排出者責任に基づき、減量とともに資源化や適正排出に向けた勧奨を継続的に強化していく必要があります。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>今後も一般廃棄物処理基本計画に基づき、循環型社会の実現に向けて、地球温暖化対策にも資するごみの減量と資源化を推進していくため、特にワンウェイプラスチックや食品ロスの削減に重点的に取り組んでいきます。</p> <p>また、プラスチック資源循環促進法が施行したことにより、定期的に家庭ごみ排出状況調査を実施・検証していくことで、今後の製品プラスチックを含むプラスチックの資源全域回収やその他の清掃事業検討の基礎資料として有効に活用していきます。</p> <p>一般廃棄物処理業等許可事務に関しては、東京二十三区清掃協議会による23区共同処理となっておりますが、区としては、一般廃棄物処理業者による不適正搬入等の事例が多く発生していることから、関係許可区や清掃一部事務組合とこれまで以上に連携しながら、当該一般廃棄物処理業者への立入検査や行政指導等を徹底することにより、事業系廃棄物処理の適正分別・排出を推進していきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00446)

事務事業名称	ごみの減量と資源化の推進					款 06 項 01 目 03 事業 002	整理番号	438	
現担当課名	ごみ減量対策課		係名	事業計画係		連絡先電話番号	3725	昨年度整理番号	439
上位施策No・施策名	10 快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現					予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成13年度	実行計画事業	目標 03	施策 10	計画事業 01	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 4年度担当課名	ごみ減量対策課					事業評価区分	一般		

令和 4年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民・事業者・産業団体等	根拠法令等 (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 循環型社会形成推進基本法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	啓発活動を通して、区民のごみ減量への意識を高めつつ、ごみの発生抑制や再利用、再生利用の手法により、ごみ減量を実現する。 区民、事業者等との協働により普及啓発、生活雑貨などのリユースや集団回収への取組を進め、ごみの発生抑制とリサイクルの意識を高める。	活動指標 指標名 (1) 啓発物 (パンフレット、冊子) 延べ配布部数 指標説明 平成28年度実績分より、チラシ枚数は除外した 指標名 (2) 集団回収実施団体数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ごみの減量を推進するため、「ごみ・資源の収集カレンダー 分け方・出し方」など各種啓発物の発行や小学校等への環境学習により啓発活動を行う。 資源の集団回収団体に対し報奨金・支援物品を支給する。 資源化を推進するため、廃食用油、小型家電15品目等を拠点回収し、希少金属等を再資源化業者に引き渡す。 ○生ごみの減量のため、家庭用生ごみ処理機購入費の助成をする。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 区収集ごみ量 (対前年度比) 指標説明 令和4年度区収集ごみ量 ÷ 令和3年度区収集ごみ量 【行政】 指標名 (2) 資源回収率 指標説明 資源回収量 ÷ (区収集ごみ量 + 資源回収量) 【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 枚	512,950	509,500	509,000	494,500	494,500	499,500	100.0	90.9
活動指標 (2)	2 団体	468	559	432	432	432	432	100.0	
成果指標 (1)	3 %	103.0	98	97.0	98	96.4	98	98.4	
成果指標 (2)	4 %	27.7	33.0	27.6	33.0	27.7	33.0	83.9	
事業費	5 千円	100,038	109,618	98,230	87,252	79,271	92,357	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	43,705	49,352	54,728	44,454	95,654	94,155	
	上記以外の職員	7 千円	5,986	5,623	5,880	7,901	7,908	7,724	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	149,729	164,593	158,838	139,607	182,833	194,236		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	2,346	1,320	660	789	377	451	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	2,346	1,320	660	789	377	451	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	147,383	163,273	158,178	138,818	182,456	193,785	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 438

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	「ごみ・資源の収集カレンダー」等の発行	410,000	部	14,192
	集団回収団体報奨金の支払	432	団体	27,303
	小型家電の選別・分解等業務委託			1,499
	その他 (廃食用油資源化の委託料、食品ロス削減委託料ほか)			36,277
取組成果	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」は、排出抑制・適正分別を焦点に作成、全戸配布を行い、ごみ減量及び資源化に対する一層の周知と意識向上を図りました。また、転入者向けに、適正分別の内容を充実した「ごみ・資源の分け方・出し方」を発行しました。食品ロス削減の取組では、フードドライブに提供された食品は令和3年度比約1.7倍の24,441個となり、事業者と連携した取組により食べのこし0 (ゼロ) 応援店は190店舗増の815店舗となりました。さらに、フードシェアリングを利用したレスキュー数は7,515食となり、約3.8トンの食品ロス削減につながりました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>清掃情報紙「ごみバックン」や、全戸配布している「ごみ・資源の収集カレンダー」等を活用し、ごみの減量や適正分別、資源化の推進を周知、啓発しています。フードドライブに対する認知度の高まりとともに、近年のコロナ禍による生活環境の変化が影響し受け付け量も増加しています。</p> <p>廃食用油、小型充電式電池の回収拠点として、地域区民センター6か所を追加開設しましたが、小型家電の回収量は減少しました。</p> <p>なお、区ごみ収集量が年々減少傾向となっておりますが、引き続き、経年変化を検証していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>「食べのこし0 応援店」は815店舗、フードシェアリングサービス「TABETE」の登録店舗は64店舗まで拡充することができました。今年度は新たに大手飲食店のコンソーシアムに加わり、「食べのこし0 応援店」において食べ残しの持ち帰り (mottECO) 普及推進モデル事業を実施し、mottECO容器的使用数から削減みなし量算出等を行い、食品ロス削減の成果及び今後の施策の方向性を具体的に検証していきます。また、私立学校法人と連携した「親子クッキング教室」や農福連携農園・保健所と連携した「食品ロス削減講座」等実践的な手法を用いた啓発活動を引き続き行うとともに、連携先の拡充についても検討・調整を図っていきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年度「ごみ・資源の収集カレンダー分け方・出し方」は、ごみ・資源の発生抑制及び、プラスチック使用製品廃棄物の分別の重要性を周知するため、分別内容を充実した内容に見直しました。また、転入者向けについて、カレンダーをなくして縦版とし、排出抑制・適正分別内容をさらに充実しました。食品ロス削減では、新たな取組として、大手飲食店のコンソーシアムに参加し「食べ残し0 応援店」における食べ残しの持ち帰り (mottECO) 普及推進モデル事業を実施するなど関係団体と連携・協働した取組を推進しました。地球規模の課題となるプラスチックの削減では、令和6年度のプラスチック使用製品廃棄物分別回収モデル実施に向け、家庭ごみ排出状況調査を実施しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和6年度「ごみ・資源の収集カレンダー分け方・出し方」は、ごみ・資源の発生抑制及び、プラスチック使用製品廃棄物の分別の重要性を周知するため、内容を充実するとともに、さらにスリム化を図ります。</p> <p>食品ロス削減は、新たな取組として、大手飲食店のコンソーシアムに参加し「食べ残し0 応援店」における食べのこしの持ち帰り (mottECO) 普及推進モデル事業を実施するなど、関係団体と連携・協働した取組を推進します。</p> <p>地球規模の課題となるプラスチックの削減では、ワンウェイプラスチックの発生抑制に向けて清掃情報紙等で周知・啓発を強化するとともに、区民・事業者と連携した取組をすすめていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>食品ロス削減の取組としては、食ロス講座の開催や私立学校法人と連携した教室など実践的な手法を取り入れ、区民に対して行動変容を促す内容とします。また、今年度に引き続き、「食べ残し0 応援店」における食べ残しの持ち帰り (mottECO) 普及推進モデル事業を推進します。ワンウェイプラスチック削減の取組では、プラスチック資源循環促進法の施行に基づくプラスチック使用製品廃棄物の分別回収モデル実施を行い、区内全域実施に向けた課題抽出や検証を進めます。また、小型家電に含まれる有用金属の売却による歳入を確保するとともに、羽毛布団の再資源化を推進し、限りある資源の再資源化を図ります。集団回収事業は、実施団体の後継者や人手不足等により継続が困難な状況となっております。リサイクル意識向上のため、団体の活動が継続できるような支援を工夫していきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00447)

事務事業名称	ごみ・し尿の収集・運搬				款	06	項	01	目	03	事業	003	整理番号	439	
現担当課名	ごみ減量対策課		係名	事業計画係		連絡先電話番号	3725		昨年度整理番号	440					
上位施策No・施策名	10 快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現									予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標	03	施策	10	計画事業	02							
令和 4年度担当課名	ごみ減量対策課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内一般家庭事業者 (排出日量50kg未満)	根拠法令等 (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬する。 区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上を図る。 。収集した粗大ごみ・不燃ごみを中継車に積み替えて運搬車両台数を減らし、運搬コストを削減する。	活動指標 指標名 (1) ごみ (可燃、不燃、粗大) 収集量 指標説明 指標名 (2) 粗大ごみの収集点数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民等が分別し排出した可燃ごみは杉並清掃工場等へ、不燃ごみは中継所に搬入する。 粗大ごみは、受付、収集・運搬を委託により実施する。 中継所に搬入された不燃ごみ・粗大ごみは、金属やその他ごみ等に選別した後に中継車に積み替え、適正処理施設へ搬出する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 1t 当たりのごみ・し尿収集運搬コスト 指標説明 指標名 (2) ごみ・し尿収集運搬コスト (事業費) ÷ 区収集ごみ量【行政】 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
活動指標 (1)	1 t	100,664	99,209	97,676	97,230	94,112	95,667	96.8	95.9	
活動指標 (2)	2 点	520,983	500,000	517,914	500,000	510,029	505,000	102.0		
成果指標 (1)	3 円	16,246	17,780	17,489	19,767	19,575	20,413	99.0		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	1,635,431	1,763,917	1,708,225	1,921,964	1,842,585	1,952,809	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,162,569	1,021,849	957,794	913,389	971,380	940,549		
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	1,838	1,839	1,839		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	2,798,000	2,785,766	2,666,019	2,837,191	2,815,804	2,895,197			
財源	受益者負担分	9 千円	398,459	448,795	419,921	439,848	411,159	444,360		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	398,459	448,795	419,921	439,848	411,159	444,360		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	2,399,541	2,336,971	2,246,098	2,397,343	2,404,645	2,450,837		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 439

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	収集・運搬車両借上 (可燃・不燃)			978,503
	粗大ごみの収集・運搬委託			333,010
	粗大ごみの中継車両借上	2,446	台	107,887
	粗大ごみ・不燃ごみ中継業務委託			144,442
	その他 (賃借料・委託料・消耗品購入ほか)			278,743
取組成果	<p>可燃ごみ量 平成12年度 108,401 t 令和4年度 87,860 t 対平成12年度比 約19%減 不燃ごみ量 平成12年度 25,288 t 令和4年度 2,590 t 対平成12年度比 約90%減 粗大ごみ量 平成12年度 4,919 t 令和4年度 3,661 t 対平成12年度比 約26%減 総 計 平成12年度 138,608 t 令和4年度 94,112 t 対平成12年度比 約32%減 令和5年1月から、粗大ごみ受付システムの移行に伴い受付方法にチャットボットを導入しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみの量は年々減少傾向にあります。コロナ禍の影響で一時ごみ量が増加しましたが、収束に向けて生活環境が平時に戻りつつある状況であることから、引き続き、ごみ量の変化を検証する必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>粗大ごみの待機時間は、平時に戻った後も長期化しています。今後、粗大ごみリデュース・リユース2Rの取組を一層進める必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和5年1月から、円滑な受付業務を推進するため粗大ごみ受付システムを移行し、併せて、チャットボットを導入し8月からはラインとの連動を進めました。しかし、利用者の待機時間の長期化が続いています。今後、更なる粗大ごみの減量に向けた取組を推進していきます。令和4年度区民一人1日あたりのごみ量は、前年度比17g減の451gとなり、平成30年度以来、4年ぶりに23区中最少となりました。令和5年度より、作業計画を一本化するとともに、職員配置の見直しを行い業務の効率化を図りました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>可燃・不燃・粗大ごみの総量は、年々減少傾向にあります。一層のごみ排出削減に向けて、令和3年度に実施した家庭ごみ排出状況調査の結果と、令和5年度6月に実施した家庭ごみ排出状況調査の結果を比較衡量し、ごみの発生抑制に重点を置いたごみの減量や適正な排出に向けた周知・啓発を図るとともに、変容する社会情勢に的確に対応した取組を推進します。</p> <p>また、近隣関係を起因とした集積所の分散化や狭小路地区域へのきめ細かな収集サービス等により集積所数が増加しています。集積所が増加することにより、収集業務に支障が生じないよう、より効率的な収集・運搬体制を構築します。</p> <p>粗大ごみの受付から待機時間が長期化しているため、粗大ごみ2Rの取組を進めていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>分散化等により増加傾向にある集積所数に対応するため、多角的な検証を行い効率的な収集体制を確立していきます。また、家庭ごみ排出状況調査等により得られた基礎資料をもとに、様々な観点から適正なごみ量の推計を行い、作業体制や車両の運用を見直し収集コストを抑制していきます。粗大ごみの待機日数の短縮に向け、受付から収集までの効率化に取り組むとともに、リデュース・リユース2Rの取組を進めていきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00449)

事務事業名称	資源の回収	款	06	項	01	目	03	事業	004	整理番号	440
現担当課名	ごみ減量対策課	係名	事業計画係					連絡先電話番号	3725	昨年度整理番号	441
上位施策No・施策名	10 快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現							予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成11年度	実行計画事業	目標	03	施策	10	計画事業	02			
令和 4年度担当課名	ごみ減量対策課							事業評価区分	一般		

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	資源の排出者	根拠法令等	(1) (2)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	再商品化が可能な古紙、びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装を分別収集することにより、ごみの減量と貴重な資源の回収を推進する。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	資源回収量 (行政回収分)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ごみ・資源の集積所に排出された資源 (古紙・びん・かん・ペットボトル・プラスチック製容器包装) を回収し、資源化中間処理施設に搬入する。資源化中間処理施設で選別・圧縮・梱包等した後、再商品化工場に引き渡し、再商品化する。資源の持ち去り対策として、早朝回収やパトロールを実施する。	成果指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	資源回収率 (本事務事業では資源回収量に小型家電・金属の回収量は含みません。) 資源回収量 (行政回収分) ÷ 【区収集ごみ量 + 資源回収量 (行政回収分)】 【行政】 区民一人1日当たりのごみ排出量 (区が収集している年間の可燃ごみ量 + 不燃ごみ量 + 粗大ごみ量) ÷ 人口 ÷ 365日 【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1 t	32,401	40,522	31,438	39,714	30,535	39,075	76.9	97.8
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	24.3	29.0	24.3	29.0	24.5	29.0	84.5	
成果指標 (2)	4 g	479	450	468	465	451	458	97.0	
事業費	5 千円	2,468,533	2,495,114	2,457,304	2,512,702	2,458,137	2,539,306	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	35,713	34,437	35,458	34,195	88,750	79,932	
	上記以外の職員	7 千円	1,814	0	0	1,838	1,839	1,839	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	2,506,060	2,529,551	2,492,762	2,548,735	2,548,726	2,621,077		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	38,151	45,000	47,928	35,198	33,065	43,846	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	38,151	45,000	47,928	35,198	33,065	43,846	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	2,467,909	2,484,551	2,444,834	2,513,537	2,515,661	2,577,231		

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 440

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	古紙・びん・缶の回収業務委託			854,708
	ペットボトルの回収業務委託			387,021
	プラスチック製容器包装回収業務委託			587,890
	資源化中間処理委託			614,370
	その他 (委託料・消耗品購入ほか)			14,148
取組成果	<p>古紙、びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装を回収し、委託事業者である資源化中間処理施設へ搬入、選別、圧縮等の工程を経て再商品化工場へ搬入し資源化を図っています。</p> <p>今年度は、ペットボトルの更なる資源循環を図るため、唯一ケミカルリサイクルにより、ボトルtoボトルが可能な事業者と契約を締結し、回収した一部のペットボトルについて、繰り返しペットボトルとして資源を循環する取組を始めました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>ライフスタイルの変容による影響もあり、資源回収量が減少傾向にあるため、資源回収率が目標値に達しませんでした。</p> <p>利便性の高いペットボトルやプラスチック製容器包装は、今後とも増加傾向にあることからプラスチック資源循環促進法が施行され、製造、販売、リサイクルの各段階で減量に取り組むこととされました。区においても、製品プラスチックを含むプラスチック製品の分別回収に向け、令和6年度のモデル実施に向けた事業展開において、全世代における意識の向上と、必要のないものは取得せず、長く大切に使う生活習慣を醸成することによる、ごみ・資源の発生抑制に向けた取組が必要です。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和4年度に引き続き、ペットボトルのケミカルリサイクルによるボトルtoボトルの取組を実施しました。</p> <p>また、プラスチック使用製品廃棄物の分別回収に係る検討会を開催し、令和6年度に予定している分別回収モデル実施に向け、プラスチックを中心とした家庭ごみ排出状況調査を行い、ごみ量や性状を把握するとともに、モデル回収対象地域への働きかけなどの準備を行いました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>ペーパーレス化が進み、また、ペットボトルの需要拡大によりびん・かんの生産量が減少し、資源全体の回収量が減少傾向にあります。反面、衛生面や利便性の観点から、ペットボトルやプラスチック製容器包装の排出量がコロナ禍の影響を除くと増加傾向にあります。資源を含めた廃棄物の削減に向け、家庭における発生抑制に向けた取組を強化するとともに、プラスチック資源循環促進法の施行に伴う、プラスチック使用製品廃棄物の分別回収全域実施に向けた調査・検討を推進します。また、新たな取組として、羽毛布団の再資源化の検討を進めます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>ごみの減量と資源化を推進するため、重点的にワンウェイプラスチック及び食品ロス削減に取り組みます。プラスチック資源循環促進法の施行に伴い、プラスチック使用製品廃棄物の分別回収モデル実施を着実に進めるとともに、経年による家庭ごみ排出状況調査を実施し、家庭から排出されるごみ量及び性状等の実態から調査結果を分析し区内全域の実施に向けた資料とします。また、今後のごみ減量・リサイクル施策推進のための基礎資料として活用していきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00450)

事務事業名称	ごみ・資源の排出の適正管理			款	06	項	01	目	03	事業	005	整理番号	441
現担当課名	杉並清掃事務所		係名	管理係		連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	442			
上位施策No・施策名	10 快適で暮らしやすい資源循環型社会の実現								予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標	03	施策	10	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 4年度担当課名	杉並清掃事務所								事業評価区分	一般			

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民及び区内事業者並びに区内建築物所有者及び管理者	根拠法令等	(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	ごみの分別の徹底を働きかけ、資源化を促進するとともにカラス等による集積所の被害を防止するために区民等が取り組みやすく、より低コストで効果的な方策で、集積所の衛生状態やまちの美観を保持する。 区の収集を利用する事業主に対し、適正なごみ処理券の貼付を働きかけることで、負担の公平性を確保する。	活動指標	直接又は文書による排出指導件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	事業活動に伴って出たごみ・資源を区の収集に出す事業者に対し、適正な事業系有料ごみ処理券を貼付するよう調査・指導する。 ごみ排出の適正化指導、環境学習の推進、集積所のカラス等による被害の防止対策、大規模建築物の所有者への排出指導などを行う。	指標名 (1)	折り畳み式防鳥ボックスの配布数
		指標名 (2)	
		成果指標	事業系有料ごみ処理券収入済額
		指標名 (1)	【行政】
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	412	1,200	524	1,200	221	1,200	18.4	93.1
活動指標 (2)	2 個	1,308	1,200	1,177	1,400	816	1,400	58.3	
成果指標 (1)	3 千円	165,188	187,294	169,962	172,071	167,989	189,804	97.6	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	73,907	72,073	65,830	75,371	70,167	91,824	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	451,273	407,494	413,818	384,228	247,846	243,185	
	上記以外の職員	7 千円	1,887	4,898	4,594	2,756	2,759	2,942	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	527,067	484,465	484,242	462,355	320,772	337,951		
財源	受益者負担分	9 千円	55,037	35,592	33,524	35,198	33,065	43,846	
	国・都からの補助金	10 千円	163	200	242	214	199	217	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	55,200	35,792	33,766	35,412	33,264	44,063	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	471,867	448,673	450,476	426,943	287,508	293,888	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 441

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	有料ごみ処理券印刷実績	1,902,900	枚	10,454
	動物死体処理委託	568	頭	1,749
	折り畳み式防鳥用ボックス816基、カラスネット941枚の配布			28,494
	ごみ処理券徴収委託	303	店	17,643
	その他 (大規模建築物指導、ふれあい指導用消耗品ほか)			11,827
取組成果	<p>集積所のごみ散乱被害防止やまちの美観保持のためカラスネット及び折り畳み防鳥用ボックスを配布しました。ごみの減量や分別、資源化などの理解を深める目的である環境学習は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施回数が減少していましたが、令和4年度は小学校等で35回実施しました。ごみの減量や排出マナーの向上のため「なみすけのごみ出し達人」のアプリ配信や多言語による排出指導ステッカーにより外国人も含めて排出方法の理解の促進を図りました。このほか、有料ごみ処理券未貼付事業者への排出指導を随時実施し、ごみ・資源の適正な排出について区民等への啓発に努めました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>生活形態の多様化や地域社会のコミュニケーションの希薄化から、集積所の分散化が進む傾向にある中で、戸別収集への要望やルールを守らない人への指導を求める意見が依然として多く寄せられています。</p> <p>ごみ散乱被害の防止やまちの美観保持のため行っているカラス対策については、カラスネット・折り畳み式防鳥用ボックスの配布などを推進したことにより被害は以前より減少しています。</p> <p>また、イラストを活用した集積所看板への交換、7か国語対応の「なみすけのごみ出し達人 (マスター) 」アプリなどで外国人にも分かりやすい啓発を実施しています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>単身高齢者等を対象とした「ふれあい収集」は、安否確認など福祉的な側面から評価されています。</p> <p>環境への関心の高まりや単身世帯・外国人住民の増加などから、ごみ・資源の分け方・出し方や集積所の管理、カラス被害に対する相談が増えることが予想されます。また、高齢者世帯の増加から「ふれあい収集」へのニーズは高まると思われます。</p> <p>今後も生活形態の多様化によるごみ・資源集積所の分散化が進むことが予想されるため、収集作業の更なる効率化が求められます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>ごみの減量化及び適正排出の推進のため、不適切な排出者に対する分別指導や事業系有料ごみ処理券適正貼付等のための調査・指導を行いました。また、ごみ集積所におけるごみの散乱を防ぎ、ごみ集積所の衛生環境を保持するためカラスネットや折り畳み式防鳥用ボックスの配布を行いました。</p> <p>そのほか、外国人向けの多言語チラシの作成、ごみ出しアプリ「なみすけのごみ出し達人 (マスター) 」や多世代に向けた環境学習のためのYouTube動画を配信し、啓発活動に取り組んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>ごみ・資源の排出の適正管理については、集積所の分散化による集積所数の増加や高齢者人口の増加によるふれあい収集へのニーズの高まり等を背景に、今後、ますます、その重要性が高まっていくものと考えられます。</p> <p>これまで取り組んできたごみ・資源の排出の適正化指導や多世代向け環境学習の推進及び集積所のカラス対策等を引き続き実施するとともに、社会環境や区民ニーズの変化に迅速かつ的確に対応するため、事業内容の見直しや、ICTの活用など、さらなる業務の効率化に取り組んでいきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>カラスネット及び折り畳み防鳥用ボックスの配布について、配布件数は現状維持としますが、予算を計上するにあたり、原油価格の高騰などで材料費等の値上がりが見込まれるため、予算金額の増加が考えられます。</p>	